

# やた はな組

2014年7月11日(金)

～ 第2回「A3用紙でやってみよう！ホワイトボードケース会議」 ～



矢田圏域ケアマネ勉強会「やた はな組」を矢田中ひまわり会館にて開催しました。

7月7日は過ぎましたが、会館には七夕の願い笹が飾られてありました。

「ホワイトボードケース会議」の3回講座の第2回目「A3用紙でやってみよう！ホワイトボードケース会議」を行ないました。

今回はダミー事例を使って、既にA3用紙に利用者やキーパーソン情報が書き込まれてある。アセスメント分析スケールにそって各人で「利用者、キーパーソン困りごと」を赤色でチェックしていき、次いで「強みを探す」を青色でチェックしていきました。情報のどの項目にチェックをするのか悩みどころでした。



➡ファシリテーター技術の大切な要素である質問の方法、オープンクエスチョン（相手の思考を深める質問）について、講師が手本を提示のうえ、参加者が2人1組になり一方がファシリテーター役になり、オープンクエスチョンで相手に質問を行い、相手から情報を引き出し、情景の共有を目指して、交互に繰り返し練習を行ないました。

後半、相手を替えて2人1組で、自分のケースを思い浮かべて、A3用紙をホワイトボードに見立ててファシリテーター役が情報を導き、アセスメント分析を互いに練習しました。

実際にやってみると事例の整理ができ、どのように対応すればよいのかが見えてきたように思います。



## みなさんの感想

ファシリテーターの難しさを感じた。聞き出し方が上手くできなかった。情報を書き出すことにより、分析しやすくなる。

回数を重ねるたびに内容が理解出来てきたように思う。

聞き出す力、みちびく力がいかに重要か学びました。etc.

ホワイトボード・ミーティング(WBM)は参加者の力が活かされる効率的、効果的な会議の進め方の1つです。2003年にちょんせいこ(株式会社ひとまち)が開発し、多様な地域や領域で取り組まれています。【参考図書】「元気になる会議～ホワイトボード・ミーティングのすすめ方」(解放出版社) <http://wbmf.info>

「ホワイトボード・ミーティング(WBM)高齢者支援チーム」の神田先生、船越先生、ご協力いただいた矢田中地域福祉コーディネーターさん、参加いただいたケアマネのみなさん ありがとうございました。

次回「第3回目 WBM 講座」にも、みなさまの参加をお待ちしています。

「やた はな組」は、参加される皆さんの意見を反映させ、自由につくっていきたくと思っています。皆さんの要望や意見もお聞かせください!!

矢田地域包括支援センター

電話 06-6694-5552

E-mail houkatu@karan.or.jp